

# 令和8年度 稚内南小学校 グランドデザイン

## 【関係法令等】

- ・憲法(教育理念)
- ・教育基本法
- ・学校教育法
- ・学習指導要領
- ・管内教育推進の重点
- ・稚内市教育大綱

## 【学校教育目標】

仲間とともに自立する子どもの育成

## 【目指す南地区の子ども像】

- ・夢を抱き、何事にも粘り強く挑戦する子
- ・自ら学び、自ら考え、創造する子
- ・正しく判断し、責任を持って行動する子
- ・自他ともに認め合い、お互いを高め合う子
- ・心身ともに健康でたくましく生き抜く子
- ・稚内に誇りを持ち、ふるさとを愛する子

## 【学校研究主題】

仲間とともに自立するための資質・能力の育成

折り返し地点をまわった現行学習指導要領の理念(「児童に何をどのように学ばせるか」の視点に立った教育活動づくり)の実現を全ての学年で目指す

「主体的・対話的で深い学び」の  
基盤となる学級・学年づくり

- ①自分の「考え」や「思い」を周りに気兼ねすることなく適切にアウトプットし、他者とやり取りすることができる力を育成する。
- ②意図的・計画的な学級活動・児童会活動や学校行事を通じた望ましい集団づくり(緩やかな関係づくり)並びにいじめの未然防止に向けた多角的な取組 ⇒ 児童の「こうしたい」「こうなりたい」という希望や夢を引き出し、PTA・地域社会の力を借りながら実現を図る。
- ③計画的な教育相談を通じた児童個々の実態の把握及び各種調査・検査結果を通して、児童一人一人のよさを伸ばすための方策を立案し、組織的な見取りを継続する。

【評価】「気兼ねなく、自分の考えを自分の力で言ったり、書いたりすることができるようになっていく」(児童評価 目標90% R7結果83%)  
「学校は子どもが他者とやり取りしたり、発表したりする場を適切に設定している」(保護者

他の実践から学ぶ授業改革

- ①年間標準時数(1年850、2年910、3年980、4～6年1015)の中で、各種検査・調査結果を生かしながら、各教科等で求められている力を身に付けさせることができる効果的・効率的な授業づくりを引き続き進める。
- ②児童による「主体的な学習活動」につながる各教科等での授業をつくるため、本校児童の実態に即した「よいモデル」の把握に努める。
- ③家庭での自主学習(自主的活動)につながる授業づくりについて追求し、授業以外の場で自ら学習を進めることができる児童を育成する。

【評価】「算数科CRTにおける学年別スコアを、2年生以上においては前年度より向上させる」  
「子どもは自主的・計画的に家庭学習を行っている」(3～6年保護者評価 目標80% R7結果64%)  
「授業の中で興味をもったことには、家に帰ってからも時々取り組んでいる」(3～6年児童評価 目標75% R7結果60%)

発達段階に即した支援

- ①個々の児童の特性に即した教育課程(通級指導や自立活動を含む)の編成に努め、家庭との連携の下、工夫・改善を図りながら児童が自らの課題を改善・克服できるものとする
- ②勇知保育所を含む幼保施設から幼児教育の現在の在り方を学び、幼児期の学びをベースとした1・2学年における教育課程編成を進める。
- ③学校や教室での学びに困難さを抱える児童に関わり、本人が興味・関心をもつ事柄を基に学校内外で学ぶことができる環境づくりを進める。(PTAや学校運営協議会を通して、地域住民や保護者にも教室での学びが困難な児童の対応に参画してもらうことを追求する)

【評価】「個々の児童に応じた学びの場が、校内外でつくられている」(教職員評価 目標80% R7結果68%)  
「自ら主体的に教育活動の改善に関するアイデアを前期に1つ、後期に1つは出した」(教職員評価 目標100% R7結果50%)

連携・協働

- ①算数・数学科における児童生徒の習熟状況が十分ではないことに関して、小中間で課題を共有した上での共通した取組を構築・実施し、CRTスコアでの実際の変容・改善を目指す。(最重点：各校教頭が責任をもって取組を統括する)
- ②望ましい学習・生活習慣の確立(宿題や家庭学習の在り方を含む)について、家庭との協議と並行してPTAでの具体的な取組を立案し、向上を図る。
- ③学校(各担当者)からの保護者・地域住民に向けた資料・コラム等の配信・配付を通して「現在の学校教育に求められていること」に関する理解を得る。

【評価】「中学校区内で、算数・数学科に関する授業改善の視点を教員が共通にもち、策の立案や実践を進めることができる」(教職員評価 目標100% R7結果39%)  
「学校は適切に地域社会を含めた外部への情報発信に努めている」(保護者評価 目標80%)